

『摂南大学教育学研究』第19号発刊にあたって

「摂南大学教育学研究」編集委員会
委員長 吉田 佐治子

このたび、『摂南大学教育学研究』(Bulletin of Educational Research of Setsunan University) 第19号が完成いたしましたので、発刊いたします。

本誌は、摂南大学教職支援センターの教員及び教職課程を履修した卒業生を中心に、教育の理論および実践的交流誌として発刊するもので、教職支援センターの研究事業として19年の歳月を刻むこととなります。

2022年2月、ロシアがウクライナに侵攻したというニュースが飛び込んできました。長期化する中で、私たちの生活にも目に見える形で影響が及んでいます。改めて、「世界は繋がっている」と実感しているところです。そのような中、ゴルバチョフ氏の訃報が届きました。ベルリンの壁崩壊とそれに続くソビエト連邦の崩壊は、当時学生だった私に大きな衝撃を与えました。「まさか!」と思ったのを覚えています。

昨今、VUCA時代という言葉がよく聞かれますが、「何が起きるかわからない」「変化が激しい」「当たり前が当たり前でなくなる」といった状況は、実は昔からずっと続いているのではないかと思います。そして、先のことがわからないからこそ、若い人たちには自分なりの揺るぎない軸をもってほしいと思います。

本学の発展と共に教職課程の教育内容がますます充実していくための一助となるために、この『摂南大学教育学研究』が役立つことを願っています。

2023年1月31日